

第3版の序

本書は初版が2009年6月に、改訂版が2014年2月に出版されました。いずれも増刷を重ね、多くの方々に手にとり読んでいただけたことは本当に嬉しいことでした。先日、PCI領域では達人といわれる術者と話す機会がありました。「この本を何度も読んで勉強したんですよ！今の自分があるのはあのテキストブックのおかげです！」と仰っていただきました。天にも昇るほどの嬉しさと充実感を得た瞬間でした。

自分自身が駆け出しのころに、冠動脈造影の所見を読むことができず悩んだ時期がありました。自分には才能がないのだと、くじけそうになったこともあります。その時の気持ちをもとに、初学者向けのわかりやすい書籍を提供したいというのが初版時の目標でした。すべてのイラストや写真にわかりやすい解説をつけるという工夫しました。この企画意図が読者の方々に伝われば喜びです。

心疾患の診断法や治療法は日々進歩しています。虚血性心疾患の概念や、PCIなどの治療適応にも変化が生じています。すべての原稿について編集者が内容を吟味しました。執筆者に修正・加筆をお願いした部分もあります。また内容に応じて新規執筆者に改訂を依頼しました。虚血性心疾患として冠動脈に狭窄病変が存在することは理解しやすいコンセプトですが、冠微小循環障害といった概念も重要視されるようになりました。このような領域は、新規に項目立てを行いました。こういった新規分野こそ本書の対象読者である若手医師に知ってもらわなければならないからです。この第3版の読者が、医師として立派に成長し、さらにPCI術者として診療を支える人材となることを期待しております。

初版から本書の製作に尽力いただいている鈴木美奈子氏の頑張りには本当に感謝しています。心臓カテーテル検査・治療が正しく普及し心臓病に悩む患者さんたちに福音をもたらすことに、本書がわずかでも貢献できることを願っています。

2023年2月

滋賀医科大学内科学講座循環器内科
中川義久